



## 第12回日本化学連合シンポジウム 「AIで化学、化学産業が変わる」

日時 2019年3月6日(水) 14:00~17:45

会場 化学会館7階 ホール (東京都千代田区神田駿河台1-5 JR 御茶ノ水駅(御茶ノ水橋口改札)より徒歩5分)

(会場へのアクセスは、<http://www.chemistry.or.jp/access/index.html>をご覧ください)

主催 (一社) 日本化学連合

共催 (株) 化学工業日報社、(一社) 化学情報協会、(一社) 日本サイエンスコミュニケーション協会

後援 (国研) 科学技術振興機構、(公社) 新化学技術推進協会

### 第12回日本化学連合シンポジウム「AIで化学、化学産業が変わる」 <14:00~17:45>

概要: AIは今後の大学・研究機関や企業の研究・実務を大きく変える可能性を有しています。ただ、AIを活用するためには、データを戦略的に収集、活用する必要があります。本シンポジウムでは、化学・化学産業の分野でAIに関する最先端の研究をされている講師を迎え、AI活用に必須なデータベース構築やその有効活用に関するお話、産業化する際の問題点やネット活用で避けられないセキュリティに関するお話をお聞きします。

<14:00~14:05> シンポジウム趣旨説明

長谷部 伸治 (日本化学連合副会長・企画委員会委員長)

<14:05~14:50>

「情報統合型物質・材料開発イニシアティブ (MI<sup>2</sup>I) の概要」

(物質・材料研究機構) 伊藤 聡

マテリアルズインフォマティクスの国内外の動向と、具体的な事業として情報統合型物質・材料開発イニシアティブの概要を述べる。とくに高分子化学分野での適用事例を紹介し、今後の展望についてもお話ししたい。

<14:50~15:35>

「リチウム電池材料分野におけるマテリアルズインフォマティクスの活用」

(東京工業大学) 鈴木 耕太

リチウム電池を構成する材料の探索や改良は古典的な材料科学の手法によって行われており、その効率改善が求められている。その様な中、古典的な手法に加えて、計算科学の活用や、情報科学を駆使したマテリアルズインフォマティクスの活用が期待されている。本講演では、固体電解質探索に機械学習を活用した取り組みの実例を中心に、当該分野における研究動向を紹介する。

<15:35~15:45> 休憩

<15:45~16:30>

「今、進んでいる時代の変化とプロセスオートメーション」

(名古屋工業大学) 橋本 芳宏

Society5.0やIndustrie4.0という社会変革が謳われ、IoT, Big Data, AI, Deep Learningがその原動力として取り上げられている。まず、それらの革新性に触れたのち、化学工学の一分野であるプロセスオートメーションの進化を関係づけて論じたい。

<16:30~17:15>

「化学産業とAI」

(東京農工大学) 山下 善之

化学産業においても、AI・IoTを活用したデジタル・トランスフォーメーションに向けての動きが活発化しています。関連分野の最新状況と今後の展望についてお話しします。

<17:15~17:40>

<17:40~17:45> 閉会の挨拶 黒田 一幸 (日本化学連合副会長)

<18:00~19:30> 交流会  
「トラットリア レモン」(化学会館隣) にて <http://trattorialemon.jp/>

なお、当日、シンポジウムに先立ち、化学コミュニケーション賞 2018 表彰式が開催されます。こちらにも奮ってご参加ください。

<12:45~12:55> 開会挨拶 岩澤 康裕 (日本化学連合会長)

第 1 部 化学コミュニケーション賞 2018 表彰式 <12:55~13:45>

《司会 里川 重夫 (日本化学連合理事)》

<12:55~13:05> 選考委員長挨拶・選考結果説明  
吉江 尚子 (日本化学連合副会長・化学コミュニケーション賞選考委員長)

<13:05~13:15> 授与式

<13:15~13:45> 業績紹介

化学コミュニケーション賞 2018 (個人)

「世界へ繋がる化学教育と地域活性化への展開」

(米子工業高等専門学校) 谷藤 尚貴

化学コミュニケーション賞 2018 審査員特別賞

「幅広い世代を対象とする化学実験講座の実践」

(東京都立産業技術高等専門学校) 田村 健治

化学コミュニケーション賞 2018 審査員特別賞

「化学の好きな子どもを増やす社会貢献活動」

(愛知県立惟信高等学校) 福田 俊彦

- 表彰式の参加費は無料ですが、事前参加登録が必要です。
- シンポジウムの参加費 (講演資料集代) は 2,000 円で、事前の参加登録・銀行振込が必要です (当日の参加申込・支払いは 1,000 円増しになります)。
- 交流会の参加費は 6,000 円で、事前の参加登録・銀行振込が必要です (当日の参加申込・支払いは 1,000 円増しになります)。
- 参加申込方法: 当連合のホームページの参加申し込みフォームを用いて、氏名, 所属学協会, 勤務先と職名 (学生は学校名と学年), 連絡先 (メールアドレス), 化学コミュニケーション賞表彰式・シンポジウム・交流会参加の有無などを明記し, 3 月 1 日 (金) までに Web にてお申込みください。なお、定員になり次第、締め切ります。
- 問い合わせ先: 一般社団法人日本化学連合 事務局 URL: <http://www.jucst.org>  
E-mail: [secretariat@jucst.org](mailto:secretariat@jucst.org) 電話: 03-3292-6010